

山岳遭難防止対策検討会の設置等について

観光スポーツ部山岳高原観光課

1 経緯（背景）

近年の山岳遭難の増加や社会的な登山の安全対策・規制等への意識の変化を踏まえ、山岳関係者や市町村等で構成する検討会を開催し、山岳遭難防止に向けた必要な方策等について検討を行うなど、登山を安全に楽しむための環境の整備を目指す。

2 事業内容

(1) 山岳遭難防止対策検討会の開催

山小屋や遭対協、大学教授などの山岳関係の有識者、山岳関係事業者、市町村等で構成する検討会を開催し、遭難対策のあり方を検討する。

(2) 登山計画書及び登山の記録等の分析を通じた登山・遭難傾向の把握

登山地図アプリを經由して提出された登山計画書や登山の記録（ログデータ）をもとに登山者の属性や動向、遭難リスクの傾向等を分析し、検討会での議論や対策実施に活用する。

(3) 「啓発ゲート（仮）」の設置検証

山岳遭難防止対策協会等との連携により、県内主要登山口において、登山の準備状況等を確認し、正しい登山ルールへの認識を促進する「啓発ゲート（仮）」を設け、県内における登山に関する取組の効果を検証する。

3 スケジュール（案）

	検討会	取組
4月	<第1回 検討会> 4月20日（月） 現状・課題の共有	
5月		
6月	<第2回 検討会> 課題に関する検討	登山計画等の分析
7月		啓発ゲート設置 啓発効果の検証
8月		
9月	<第3回 検討会> 分析事業・検証事業の事業報告 検討結果（検討会報告書骨子）の提示	分析事業・検証事業 結果取りまとめ
10月		
11月	<第4回 検討会> 検討結果（検討会報告書案）の提示	
	○県への提言	
R9以降	新たな山岳遭難防止対策の実施（事業の予算化等）	